

平成23年度 秋冬期輸送対策について

平成23年10月12日

1. 基本的な考え方

平成23年度の秋冬期は、未曾有の災害となった東日本大震災からの復興が着実に進む中で、復興物資輸送や野菜類をはじめとした季節物資の出荷等、旺盛な年末需要が見込まれます。

今秋冬繁忙期（平成23年10～12月）のコンテナ輸送対策としては、東日本大震災からの復興を受けて東北地方発着の輸送需要も増加していることから、同地方発着の列車の運転を再開いたします。

旺盛な季節物資の出荷や年末需要等に弾力的にお応えするため、臨時列車の運転や休日に運休している列車の復活運転などを実施します。特に、季節物資である農産物のお応えするため、北海道発着列車の臨時列車を運転し輸送力を最大限確保いたします。また、旺盛な需要が見込まれる年末の輸送対策として、東京⇄大阪間の臨時列車の運転回数を拡大いたします。

なお、輸送障害時における迅速かつ正確な情報提供など危機管理体制の強化により、お客様からの信頼性の向上を図ってまいります。

2. 具体的な対策

(1) 東北地方発着列車の運転再開

- ・ 第3071列車（隅田川→盛岡(夕)）、第3078列車（仙台(夕)→新座(夕)）

…10月4日発から運転

※第3071列車は、現在隅田川→仙台(夕)間で運転しており、今回仙台(夕)→盛岡(夕)間まで運転区間を延長します。

- ・ 第79～91列車（隅田川→仙台(夕)）、第90列車（仙台(夕)→隅田川）

…11月後半からの運転を検討中

※常磐線は震災以降不通のため東北線経由で迂回運転を行います。

(2) 臨時列車運転による輸送力増強(別紙参照)

(3) 新製コンテナの投入

円滑なコンテナ運用を図るため、秋冬繁忙期に先駆け8月から9月にかけて1,150個の新製コンテナを投入いたしました。

(4) 輸送力の取得しやすい環境作り

I-TEM センターの機能を活用しながら、お客様のニーズをきめ細かく把握し、輸送枠の適切な調整をすることによって、安心して鉄道貨物輸送をご利用いただくため確実な輸送力の提供を行ってまいります。

また、隘路区間の対策として、福岡貨物ターミナル駅～鳥栖貨物ターミナル駅間のトラックによる併用代行を実施します。

(5) 危機管理体制の強化

自然災害等による輸送障害時に備え、引き続き日本海側のフェリーと連携した代行輸送体制を実施してまいります。

(別 紙)

臨時列車運転計画

(1) 季節物資輸送対策

地帯間	発駅	着駅	運転日	記 事
北海道⇔ 関東	帯広	熊谷(夕)	9/15-10/17	日本海縦貫・上越線経由
	熊谷(夕)	帯広	9/16-10/17	日本海縦貫・上越線経由
	札幌(夕)	東京(夕)	10/18-29	日月は運休、東北線経由
	札幌(夕)	東京(夕)	11/2, 5, 9	日本海縦貫・上越線経由
	東京(夕)	札幌(夕)	10/19-30	土日は運休、東北線経由
	東京(夕)	札幌(夕)	11/3, 6, 10	日本海縦貫・上越線経由
北海道⇔ 関西	札幌(夕)	梅田	8/23-12/22	8/29, 9/5, 12, 20, 12/12, 19 は運休
	梅田	札幌(夕)	8/24-12/21	8/29, 9/5, 12, 20, 12/12, 19 は運休

※(夕)は、貨物ターミナル駅の略

(2) 年末輸送対策

地帯間	発駅	着駅	運転日	記 事
関東⇔ 北海道	隅田川	札幌(夕)	12/14, 15, 17, 21, 22	
	札幌(夕)	隅田川	12/13, 15, 16, 20, 22	
関東⇔ 関西	東京(夕)	梅田	12/1, 2, 6-9, 13-16, 20-22, 27	
	大阪(夕)	東京(夕)	12/1, 2, 6-9, 13-16, 20-22, 27	
東海⇔ 九州	西浜松	福岡(夕)	12/3, 10, 17	通常期は月一金運転も、12月の左記日にちの土曜について運転日を拡大
	福岡(夕)	西浜松	12/4, 11, 18	通常期は火一土運転も、12月の左記日にちの日曜について運転日を拡大

※(夕)は、貨物ターミナル駅の略